

<第一篇> 助詞與指示

01

第 01 單元：助詞 I

- 01. ~が
- 02. ~を
- 03. ~に
- 04. ~で
- 05. ~へ

日文的助詞，又可細分為「格助詞」、「副助詞」…等不同的種類。本單元所介紹的「が」、「を」、「に」、「で」、「へ」五個「格助詞」，是用來表達其前接的名詞與後面動詞（述語）之間的關係。這五個格助詞，每個皆有數種以上的用法。在 N5 範圍中，已經學習過當中的幾種用法。本單元則是統整這些格助詞在 N4 考試中，其他必須了解的用法。

第 01 單元： 助詞 I

01. ~が

接續：名詞十が

翻訳：中文以語序位置決定「主體」，無翻譯。

說明：① 表「動作的主體」。用於單純描述說話者看到「第三人稱的某人做某動作（描述人）」。後句會使用動詞。② 表「事物、自然現象的主體」。用於單純描述說話者看到或感覺到「某一個自然現象、或某事物的狀況（描述事物）」。後句可使用動詞以及形容詞。

① • 赤ちゃんが 泣いて いる。 (「～ている」⇒ #41- ①)
(小孩在哭泣。)

• 友達が 来ました。
(朋友來了。)

• あっ、見て！パンダが 餌を 食べて いるよ。可愛い！
(啊，你看！熊貓正在吃飼料耶。很可愛！)

• あっ、山田さんが 花瓶を 割りました。
(啊，山田先生把花瓶打破了。)

• 子供たちが 公園で 楽しく 遊んで います。
(小孩們快樂地在公園玩耍。)

• 生徒たちが グラウンドに 立って います。
(學生們站在操場上。)

 辨析：

動詞句第一、二人稱時，動作的主體一般會使用「は」。若使用「が」，則語感上帶有弦外之音，用來強調「正是我…／由我來…」的含義。（「～は」⇒#11）

• 私は 昨日の 午後、公園で 遊んで いました。

(我昨天下午，在公園裡玩耍。)

• (あなたは) 昨日、 どこへ 行きましたか。

(你昨天去了哪裡？)

• この花瓶は 山田さんではなく、私が 割りました。ごめんなさい。

(這花瓶不是山田打破的，是我打破的。抱歉。)

• 部長、今度の 出張は、私が 行きます。

(部長，這次的出差，就由我去吧。)

② • 雨が ふ 降って います。

(正在下雨。)

• 月が で 出ました。

(月亮出來了。)

• あっ、バスが 来ました。

(啊，公車來了。)

• 大雨で 橋が 壊れました。

(因為大雨，橋壞掉了。)

• あっ、見て！飛行機が 空を 飛んで いる。

(啊，你看！飛機在天空上飛。)

• あっ、水が 冷たいです。

(啊，水好冰。)

• わあ、星が きれいですね。

(哇，星星好漂亮啊。)

辨析：

「～が」除了在上述兩項用法中，用於表「主體」外，亦可用來表達感情、能力的「對象」以及主語的「屬性」。 (⇒ #15)

隨堂測驗：

01. あっ、見て！鳥（ ） 空を 飛んで いるよ。

1. は 2. が 3. に 4. で

02. あれ？雨（ ） 降って きましたね。

1. は 2. が 3. に 4. で

解 01. (2) 02. (2)

02. ~を

接続：名詞+を

翻訳：① 中文以語序位置決定「受詞」，無翻譯。② 脱離…。③ 行經…。④ 度過…。

説明：① 使用他動詞／及物動詞（⇒ #78）時，表此動作的「對象」（他動詞／及物動詞的受詞）。② 前方名詞為「場所」，後方動詞為「出る、離れる…」等含有離開語意的自動詞／不及物動詞時，表「離開的起點」。③ 前方名詞為「空間、場所」，後方動詞為「歩く、走る、通る、渡る、行く、来る、帰る…」等含有移動語意的自動詞／不及物動詞時，表「此移動動作的經過場所」。④ 前方名詞為「一段期間」，後方動詞為「過ごす、暮らす、生きる、送る…」等含有度過語意的動詞時，表「度過的時間」。

① • ご飯を 食べた。

(吃了飯。)

• 切符を 買った。

(買了票。)

• 音楽を 聴く。 (感官活動的對象)

(聽音樂。)

• 約束を 忘れた。 (思考活動的對象)

(忘了約定。)

• そのことを 課長に 話した。 (語言活動的對象)

(把那件事情告訴課長。)

• バットで スイカを 割る。 (形狀變化的對象)

(拿球棒打西瓜。)

• 荷物を ホテルの ロビーから 部屋に 運んだ。 (位置變化的對象)

(把行李從飯店的大廳搬到房間。)

• 姉と 一緒に 雪だるまを 作った。 (產出的對象)

(和姊姊一起做了雪人。)

②・昨日は 夜の 10 時に 会社を 出た。

(昨天晚上十點離開了公司。)

・東京を 離れて、大阪へ 行った。

(離開了東京，去了大阪。)

・大学を 卒業して、サラリーマンに なった。 (「～て」⇒#128-②)

(大學畢業後，成為了上班族。)

📎 辨析：

表起點的「を」與「から」之異同

「を」表離開的起點，「から」表出發的起點，兩者比較如下：

1. 「を」前接的場所，一定是動作主體曾經存在過的地方，因此像是「窓（窗戶）」等，並不是主體曾經待著的地方，則不可使用「を」。

・地震で ドアが 壊れて しまったので、彼は 窓（×を／○から） 外に 出た。

(因為地震而導致門壞掉了，所以他從窗戶爬了出來。)

2. 若前接的名詞與「～の中」併用時，只可使用「から」。

・彼は ご飯の 時だけ、部屋の 中（×を／○から） 出る。

・彼は ご飯の 時だけ、部屋（○を／○から） 出る。

(他只有在吃飯的時候，才會從房間出來。)

3. 若用於表達「畢業」、「離家出走／離家獨立」等抽象含意時，只可使用「を」。

・彼は 5年 かけて、やっと 大学（○を／×から） 出た。

(他花了五年，總算從大學畢業了。)

・家（○を／×から） 出て、一人暮らしを 始めた。

(他離開家裡，開始了獨居生活。)

③・海を 渡って、日本へ 来ました。

(遠渡重洋，來到了日本。)

・廊下を 走ると 怒られます。 (「～(ら)れる(被動)」⇒#91)

(在走廊奔跑，會被罵喔。)

・誰も いない 公園を 一人で 通った。

(我獨自一人經過了沒有人的公園。)

・この道を まっすぐ 行って ください。

(請往這條路直直走下去。)

④・ここで 一生を 過ごします。

(我要在此度過一輩子。)

・不幸な 人生を 送った。

(我度過了一個不幸的人生。)

・今を 生きる。

(活在當下。)



隨堂測驗：

01. 休みの 日は いつも 家で 家族と ご飯 () 食べます。

1. が 2. に 3. を 4. と

02. 兄は 父と 喧嘩して 家 () 出て しまった。 (「～てしまう」⇒#47- ②)

1. に 2. が 3. を 4. から

解 01. (3) 02. (3)

03. ～に

接続：名詞十に

翻訳：① 中文以語序位置決定「對象」，無翻譯。② 有…。在…。

③ 在…（長了／出現了…）。

說明：① 前方名詞為「人」，後方動詞為有方向性的動作，如「会う、触る、ぶつかる」（等接觸語意動詞）；或「話す、聞く、知らせる、教える、電話する」（等發話語意動詞）；或「頼る、憧れる、従う」（等心態語意動詞）時，表此動作的「對象」。② 前方名詞為「空間、場所」，後方動詞為「ある、いる、存在する、ない」等表存在的少數幾個「靜態動作」的動詞時，則表某物的「存在場所」。此時多會使用「～に～が ある／いる」、「～は～に ある／いる」的句型。③ 前方名詞為「空間、場所、人的身體內部或一部分」，後方動詞為「咲く、生える、(子供が) できる、生まれる」等動詞時，則表「某物於某內部空間無中生有、發生、出現」語意的動詞，則表達此物的「出現場所」。

① 昨日 先生に 会いました。

(昨天見了老師。)

・やめて ください。私の お尻に 触らないで ください。

(請住手！請不要摸我的屁股！)

・友達に 私の 秘密を 教えました。

(我告訴了朋友我的秘密。)

・ホテルに 着いたら、 私に 電話して ください。 (「～たら」⇒ #54-②)

(到了飯店之後，打電話給我。)

・私は あの 人に 憧れて います。

(我很仰慕那個人。)

・皆さん、学校では 先生に 従いましょう。

(各位，在學校要聽老師的話喔。)

②・机の 上に 本が ある。

(桌上有書。)

・テーブルの 下に 可愛い 犬が いる。

(桌下有隻可愛的小狗。)

・あなたの 本は 机の 上に ある。

(你的書在桌子上。)

・鈴木さんの 犬は テーブルの 下に いる。

(鈴木先生的狗在桌子下。)

・駅前に スーパーが ある。

(車站前有間超市。)

・この部屋に テレビは ない。 (否定: (×) テレビが→ (○) テレビは)

(這房間裡沒有電視。)

辨析：

使用「～に ～が ある／いる」時，為說話者單純敘述當下所看到事物（此處的「が」的用法，為第 01 項文法的第②項用法）。而使用「～は ～に ある／いる」時，則是針對尋找特定人、事物時所給予的回答。

・あっ、机の 上に 新しい 本が ある。 読んでも いい？ (「～てもいい」⇒ #39)

(啊，桌上有一本新書。我可以讀嗎？)

・A：私の 本は どこに あるの？ (「～の」⇒ #64-①)

(A：我的書在哪裡呢？)

B：あなたの 本は 机の 上に あるよ。

(B：你的書在桌上喔。)

「机の 上に 本が ある」，相當於英文的「There is a book on the desk.」；而「本は 机の 上に ある」則相當於英文的「The Book is on the desk.」。兩者的差別在於「a book」（不特定）與「the book」（特定）。

③・庭に きれいな 花が 咲いた。

(庭院裡開了漂亮的花。)

・あごに ひげが 生えた。

(下巴長了鬍鬚。)

・足に たこが できた。

(腳長繭了。)

・妻に 赤ちゃんが できました。

(我老婆懷孕了。)

・鈴木さんに 赤ちゃんが 生まれました。

(鈴木小姐的小孩出生了／生了個小孩。)



隨堂測驗：

01. ほら、あそこ () 男の子 () いますね。

1. は／に 2. に／が 3. は／が 4. で／が

02. 顔 () ニキビが できました。

1. に 2. は 3. が 4. を

解 01. (2) 02. (1)

04. ~で

接續：名詞十で

翻訳：① 在…做…。② 滿…。

說明：① 前方名詞為「空間、場所」，後方動詞為「動態動作」時，則表動作者在此空間實行的「動態動作」。② 若後方使用「いっぱい」，或「満たす／満たされる、溢れる」等表示「充滿、溢出」的詞彙，則表某空間（主語部分）「充滿」了此物品。

①・子供たちが 公園で 遊んで いる。
(小孩們在公園玩耍。)

・春日さんは いつも 教室で 寝て います。
(春日先生總是在教室睡覺。)

・私は 日本の 大学で 経済の 勉強を しています。
(我在日本的大學學習經濟。)

・今日、会議室で 昼ご飯を 食べました。
(今天在會議室吃了中餐。)

・室内で たばこを 吸わないで ください。 (「～ないでください」⇒ #34)
(請不要在室內吸菸。)

・今夜、お寺で 法事が あります。
(今天晚上在寺廟舉行法會。)

辨析：

表場所的「を」與「で」之異同

・川で 泳いた。

・川を 泳いた。

本項用法「～で」，用於表達「動作場所」。而第2項文法「～を」的第③項用法則是用於表

達「經過場所」。上述兩句的不同，在於「川で泳いだ」的語感偏向「在河川做游泳這個動作」；而「川を泳いだ」的語感則是偏向「在河川廣範圍移動遨遊，或從左岸游渡到右岸」。

• 公園で ある 歩いた。
こうえん ある ほどう 歩いた。

• 歩道を ある 歩いた。
ほどうを ある ほどう 歩いた。

• 公園で 歩道を ある 歩いた。
こうえん ほどう ある ほどう 歩いた。

同理，「公園で歩いた」表示「在公園這個範圍內，做步行這個動作」之意；「歩道を歩いた」則是表示「沿著步道一直移動，走下去。行經步道」之意。亦可將兩者合併為一句話「公園で歩道を歩いた」，意指「在公園這個範圍內，沿著步道一直移動，做行經步道這個動作」。

📎 辨析：

表場所的「に」與「で」之異同

本項用法「で」，用於表達「動作場所」。而第3項文法「～に」的第②項用法則是用於表達「存在場所」。「で」後方使用的動詞為「動態動作」；「に」後方使用的動詞則為「ある、いる」等「靜態存在」的動詞。

• 教室で ご飯を 食べます。 (動態動作)
きょうしつ はん た
教室で ご飯を 食べます。
(在教室吃飯。)

• 教室に 学生が います。 (靜態存在)
きょうしつ がくせい
教室に 学生が います。
(教室裡有學生。)

此外，「ある」這個動詞有兩種意思。一為靜態的「存在」之意，一為動態的「舉行」之意。因此就有如第六句例句，若要表達動態舉行的語意時，必須使用表動態動作的助詞「で」。

• お寺に 仏像が あります。 (佛像「存在」之意)
てら ぶつぞう
お寺に 仏像が あります。
(寺廟裡有佛像。)

• お寺で 法事が あります。 (「舉行」法會之意)
てら ほうじ
お寺で 法事が あります。
(在寺廟舉行法會。)

②・スーパーは 買い物客で いっぱいです。

(超市滿是買東西的客人。)

・本日は 予約で いっぱいです。

(今天預約都滿了。)

・観光地の 駐車場は 車で 溢れて いる。

(觀光地的停車場停滿了車子。)

・私の 心は あなたの 愛で 満たされて いる。

(我的心，被你的愛塞滿滿的。)



隨堂測驗：

01. 昼ご飯は 食堂（ ） 食べて ください。

1. が 2. で 3. に 4. は

02. 今日 鈴木さんの 家（ ） パーティーが あります。

一緒に 行きましょう。

1. に 2. が 3. で 4. を

解 01. (2) 02. (3)

05. ～へ

接続：名詞十へ

翻訳：往…。朝…。向…。

説明：前方名詞為「空間、場所」，後方動詞為移動語意的動詞，用於表「主語朝某方向移動」。

- (わたし) あしたともだち 明日 友達と デパートへ 行きます。

(我明天要和朋友去百貨公司。)

- (わたし) しょうがつじっか お正月に 実家へ 帰ります。

(過年的時候我要回老家／娘家。)

- きのうともだち 昨日、友達が うちへ 来ました。

(昨天朋友來了我家。)

- あの ひこうき 飛行機は ニューヨークへ 向かった。

(那飛機朝向紐約出發了。)

- あね きょく テレビ局へ ファンレターを おく 姉は 送った。

(我姊姊寄了粉絲信給電視台。)



辨析：

表移動方向的「へ」與「に」之異同

- お正月に 実家へ 帰ります。

- お正月に 実家に 帰ります。

本項文法「へ」用於強調「移動的過程」，而 N5 學習到的表目的地的「に」，則是強調「移動的結果」。大多的情況下兩者可以互換（上述五個例句皆可替換為「に」）。但若動詞本身的語意，就是強調「結果」，如「着く」（到達）等詞彙，則不適合使用強調移動過程的「へ」。

○ 姉は 駅に 着きました。

✗ 姉は 駅へ 着きました。 (必須改為「に」)



隨堂測驗：

01. 昨日 電車で 新宿 () 行きました。

1. へ 2. を 3. と 4. が

02. 駅 () 着いたら、私に 連絡して ください。

1. へ 2. に 3. を 4. は

解 01. (1) 02. (2)

01

單元小測驗

1. あっ、見て！お猿さん（　）木を 登って いるよ。

1 の 2 を 3 が 4 で

2. 彼は 今、部屋で 音楽（　）聴いて います。

1 で 2 を 3 が 4 に

3. 会議の 時間は 彼（　）聞いて ください。

1 で 2 を 3 が 4 に

4. 兄は 16歳の時 家（　）出て、東京に 行きました。

1 を 2 に 3 が 4 から

5. 家の 前（　）大きい 川が あります。

1 を 2 で 3 に 4 が

6. 今夜、 文化センター（　）コンサートが あります。

1 に 2 で 3 が 4 へ

7. 日曜日ですから、公園は 人（　）いっぱいです。

1 で 2 の 3 を 4 と

8. 昨日の 午後、羽田空港（　）着きました。

1 へ 2 で 3 が 4 に

9. 明日、 大阪（　）行きます。

1 に 2 で 3 が 4 を

10. 先生の かばん（　）あの 机の 上（　）あります。

1 に／が 2 が／に 3 は／に 4 に／は